

神戸大学医学部附属病院

食道胃腸外科

指導担当医（役職）

後藤 裕信（助教）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

臨床実習1、臨床実習2を踏まえて、より実践に近い外科知識や手技を学ぶ。

外科医の実際の診療に触れることで、卒業後の進路選択に役立てる。

主治医団の一員として受け持ち症例を担当し、入院、手術、術後管理を通じた実習を経験する。

手術見学を通じて、最先端の消化器外科治療に触れる。

縫合実習、ドライボックスでの鏡視下縫合のトレーニングを経験する。

実習スケジュール

- 担当症例の診察、病状把握：担当症例の術前から術後管理まで、毎朝診察し、病状を把握する。
- 全体回診（月曜、金曜8時20分から）：全体回診に同行し、担当患者のショート・プレゼン、周術期管理についてのディスカッションを行う。
- 症例検討会（火曜8時20分から）：肝胆膵外科との合同カンファレンス
- 術前症例検討（金曜8時から）：翌週の手術症例の検討会に参加する。
- 術後症例検討（月曜8時から）：前週の手術症例の検討会に参加する。
- 外国語文献抄読会（木曜8時20分から）：肝胆膵外科との合同。提示された文献のプレゼンテーションに基づきディスカッションを行う。

学生へのメッセージ

少しでも外科学、消化器疾患に興味のある学生、やる気のある学生を歓迎します。

臨床実習1、臨床実習2を踏まえて、より実践に近い外科知識や手技を経験しましょう。

鏡視下手術やロボット手術を中心とした最新の低侵襲外科に触れ、今後の学習、そして卒業後の診療の糧としてください。

消化器外科を目指す方、外科を目指す方の進路相談にもなります。お気軽に相談してください。